

介護職種の優良要件適合申告書 （ 監 理 団 体 ）

作成日： 年 月 日
申請者（監理団体）：

介護職種について外国人の技能実習の適正な実施及び技能実習生の保護に関する法律施行規則に規定する特定の職種及び作業に特有の事情に鑑みて事業所管大臣が定める基準等第 5 条第 2 号に定める基準を満たすことについて申告します。

記

項目	点数	内容
1 介護職種における団体監理団体型技能実習の実施状況の監査その他の業務を行う体制	I 点	マニュアル等の策定及び監査担当職員への周知（ 有 ・ 無 ）
	II 点	実習監理を行う実習実施者_____実習実施者÷ 監理事業に関与する常勤の役職員_____名 = _____（小数点第 2 位以下切捨て）
	III 点	① 技能実習責任者、技能実習指導員、生活指導員等に対し、毎年、研修の実施、マニュアルの配布などの支援を行っていること（ 有 ・ 無 ） ② ①の支援の概要
	IV 点	帰国後の技能実習生のフォローアップ調査への協力の意志の有無（ 有 ・ 無 ）
	V 点	技能実習生のあっせんに関し、監理団体の役職員が送出国で行っている事前面接の概要

	VI	<p>帰国後の技能実習生に関し、送出国と提携して行っている就職先の把握の概要</p> <p>点</p>
2 介護職種における技能等の修得等に係る実績	I	<p>※</p> <p>① 分母 第1号修了者 _____ 名 - やむを得ない不受検者 _____ 名 = _____ 名 ※受検技能実習生名簿（参考様式第2-14号別紙2）及びやむを得ない不受検者名簿（参考様式第2-14号別紙3）を添付すること。</p> <p><input type="checkbox"/> 新型コロナウイルス感染症に関する水際対策に係る日本への入国制限の影響により、当該年度における実績がなく、更に過去の年度に遡って実績を記載する場合は、左記□にチェックを入れた上で、記載した実績の年度を下記のカッコに記載すること。 (_____ 年度 / _____ 年度 / _____ 年度)</p> <p>② 分子 計 _____ 名（受検技能実習生名簿（参考様式第2-14号別紙2）を添付すること）</p> <p>③初級の学科試験及び実技試験の合格率 ② _____ 名 ÷ ① _____ 名 × 100 = _____ % ※合格率の小数点以下は切り捨てること。</p> <p>点</p>
	II	<p>※</p> <p>① 分母 計 _____ 名 (A+B) A 第2号修了者 第2号修了者 _____ 名 - やむを得ない不受検者 _____ 名 = _____ 名 B 第3号修了者数 _____ 名 - やむを得ない不受検者 _____ 名 = _____ 名 ※A及びBそれぞれについて、受検技能実習生名簿（参考様式第2-14号別紙2）及びやむを得ない不受検者名簿（参考様式第2-14号別紙3）を添付すること。</p> <p><input type="checkbox"/> 新型コロナウイルス感染症に関する水際対策に係る日本への入国制限の影響により、当該年度における実績がなく、更に過去の年度に遡って実績を記載する場合は、左記□にチェックを入れた上で、記載した実績の年度を下記のカッコに記載すること。 (_____ 年度 / _____ 年度 / _____ 年度)</p> <p>② 分子 計 _____ 名 (A+B) A 専門級 _____ 名（受検技能実習生名簿（参考様式第2-14号別紙2）を添付すること） B 上級 _____ 名（受検技能実習生名簿（参考様式第2-14号別紙2）を添付すること）</p> <p>③ 専門級又は上級の合格率 (②A+②B×1.5= _____ 名) × 1.2 ÷ ① _____ 名 × 100 = _____ % ※合格率の小数点以下は切り捨てること。</p> <p>点</p>

	III 点	① 専門級又は上級の学科試験の合格者 (無・有) ※受検技能実習生名簿(参考様式第2-14号別紙2)を添付すること。 ② 合格者を輩出した実習実施者 (なし・1実習実施者・2実習実施者以上)
	IV 点	技能検定等の実施への協力の実績を有する傘下の実習実施者 計 _____ 実習実施者

(注意)

- 1 点数欄に※印が付された項目については、申告の有無にかかわらず、内容欄を記載すること。
- 2 点数欄は、申告の有無にかかわらず記載し、申告しない項目には、点数表を参照して「0点」、「-5点」等と記載すること。
- 3 「2 介護職種における技能等の修得等に係る実績」の項目の「II①」の分母が0名となる場合は、令和5年度までの間、「0点」と記載すること。

合計点
点